

奥州金ヶ崎行政事務組合告示第 12 号

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項の規定により、胆江広域水道
用水供給事業の業務状況（令和6年4月1日から令和6年9月30日まで）を別紙のとおり公
表する。

令和6年11月14日

奥州金ヶ崎行政事務組合
管理者 倉 成 淳



1 事業の概況（令和6年9月30日現在）

月別の水量（取水、供給、有効、有収）

区 分		取水水量 (m ³)	供給水量 (m ³)	有効水量 (m ³)	有収水量 (m ³)
令和6年	4月	330,172	300,528	300,528	296,776
	5月	324,489	296,224	296,224	292,681
	6月	345,791	314,484	314,484	310,928
	7月	339,551	310,855	310,855	307,370
	8月	368,228	332,460	332,460	329,300
	9月	363,737	329,118	329,118	326,118
合計		2,071,968	1,883,669	1,883,669	1,863,173
前年同月合計		2,093,465	1,912,327	1,912,327	1,883,177
対前年度	増減	△21,497	△28,658	△28,658	△20,004
	増減率	△1.03%	△1.50%	△1.50%	△1.06%

取水量、供給水量及び有収率

区 分		令和6年度	備 考
取水量	年間取水量 (m ³)	2,071,968	
	一日最大取水量 (m ³)	12,468	令和6年8月16日
	一日平均取水量 (m ³)	11,261	
供給水量	年間供給水量 (m ³)	1,883,669	
	一日最大供給水量 (m ³)	11,280	令和6年8月7日
	一日平均供給水量 (m ³)	10,126	
有効率	年間供給水量 (m ³) (A)	1,883,669	
	有効水量 (m ³) (B)	1,883,669	
	有収水量 (m ³) (C)	1,863,173	
	有効無収水量 (m ³)	20,496	
	無効水量 (m ³)	0	
	有効率 (B/A×100) %	100.0	
	有収率 (C/A×100) %	98.9	

2 令和6年度胆江広域水道用水供給事業会計予算執行状況（令和6年9月30日現在）

(1) 収益的収入及び支出（税込み）

収入

単位：千円

款、項	予算額			執行額	執行率
	当初予算額	補正予算額	合計		
第1款 水道用水供給事業収益	724,384	0	724,384	365,318	50.4%
第1項 営業収益	580,341	0	580,341	293,311	50.5%
第2項 営業外収益	144,043	0	144,043	72,007	50.0%

※営業外収益は、長期前受金戻入予算額2分の1を含む。

支出

単位：千円

款、項	予算額			執行額	執行率
	当初予算額	補正予算額	合計		
第1款 水道用水供給事業費用	798,281	0	798,281	337,170	42.2%
第1項 営業費用	704,704	0	704,704	308,846	43.8%
第2項 営業外費用	88,577	0	88,577	28,324	32.0%
第3項 予備費	5,000	0	5,000	0	0.0%

※営業費用は、減価償却費予算額2分の1を含む。

(2) 資本的収入及び支出（税込み）

収入

単位：千円

款、項	予算額			執行額	執行率
	当初予算額	補正予算額	合計		
第1款 資本的収入	46,024	0	46,024	0	0.0%
第1項 企業債	15,300	0	15,300	0	0.0%
第2項 出資金	15,341	0	15,341	0	0.0%
第3項 補助金	15,341	0	15,341	0	0.0%
第4項 負担金	42	0	42	0	0.0%

支出

単位：千円

款、項	予算額			執行額	執行率
	当初予算額	補正予算額	合計		
第1款 資本の支出	340,670	0	340,670	141,618	41.6%
第1項 創設事業費	46,024	0	46,024	0	0.0%
第2項 建設改良費	10,032	0	10,032	0	0.0%
第3項 企業債償還金	284,614	0	284,614	141,618	49.8%

3 令和5年度決算の状況

供給から15年が経過する施設の維持管理については、定期的な点検や保守作業を実施し、各設備の状態を見極め、必要十分な更新により経費の削減を図りながら水道用水の安全供給に努めた。

また、本組合の水道用水供給事業計画を令和4年度に変更したことから、本事業の基本計画となる水道ビジョン及び経営戦略の策定に向けて作業を進めた。令和6年度から着手する整備規模を30,000 m³/日とするたんこう浄水場3期整備完了後の設備更新計画についてアセットマネジメントを行うことで、施設更新の平準化を図り、計画的な更新投資を行う投資計画を含む経営戦略としている。

(1) 水道用水供給の状況

水道用水の供給は、奥州市内7か所の受水池へ年間3,623,272 m³供給し、令和4年度との比較では153,192 m³の減となった。年間総有収水量は3,566,691 m³となり、前年度比較で153,289 m³の減となっている。

(2) 建設改良工事の状況

建設改良として、分水施設等の無停電電源装置及び流量計の更新工事を施工した。

(3) 経営の収支状況

収益的収入及び支出の状況については、収入においては総額669,810,251円（消費税及び地方消費税込み額722,569,266円）となり、うち用水供給収益は527,593,864円（消費税及び地方消費税込み額580,353,239円）となった。

支出においては、総額733,545,692円（消費税及び地方消費税込み額784,354,707円）となり、この結果、63,735,441円の当年度純損失が生じた。

資本的支出の状況については、建設改良費21,450,000円、企業債償還金298,104,484円で、総額319,554,484円（消費税及び地方消費税込み額）となり、資本的収支不足額319,554,484円は、当年度分消費税資本的収支調整額1,950,000円、減債積立金298,104,484円及び過年度分損益勘定留保資金19,500,000円で補填した。